

新桜ヶ丘社協だより

第22号

発行日 平成31年3月吉日

今井地域ケアプラザ所長 遠藤 亮介

日頃より、今井地域ケアプラザの活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。昨年九月に所長を拝任いたしました。

ケアプラザには年間千二百件ほどの相談が寄せられます。その中で認知症に関する内容は少なくありません。そこで当ケアプラザでは認知症当事者の方とそのご家族が集まり、情報交換やリラックスできる時間として、認知症「みかんカフェ」を毎月開催しています。ご関心のある方は是非一度お問い合わせください。

地域の方々にとってお役にたてるケアプラザを職員一同で目指して参ります。引き続きよろしくお願い致します。



みかんカフェ風景



社会福祉協議会の活動に参加して

新桜ヶ丘ハイツ自治会長 栗脇 イク子

平成30年度自治会長として、毎月十九日に新桜ヶ丘集会所で福祉に携わる区役所の方々と地域ケアプラザ担当の方、新桜ヶ丘地域の中で活動されているボランティアの方との定例会に参加しました。時間が過ぎてゆく中で感じたことは、この会がいくつものボランティアさんの集まりであり、子どもから高齢者に至るまでが、この地域で安心して暮らせる住みやすい町づくりの為に、一生懸命活躍されている事です。

色々な良い勉強をいたしました。ありがとうございました。

新桜ヶ丘住宅自治会長 大塚 弘

社会福祉協議会の定例理事会に初めて出席して、各団体の活動報告を聞いた時、参加している団体の数とその活動内容に驚きました。こんなにも多くの方々が地域の為に活動されているのかと感心しました。

今迄の仕事中心の私の生活の中で、同じ地域に住んでいて、まだまだ人との交流が少なかったなと感じました。

地域に関わり合いを持ち、少しでもお役に立てる事ができれば良いなと思いました。

「ほっとなまちづくり」～保土ヶ谷区福祉保健計画～
新たな試み進行中!!

ヴィルヌーブの合同防災訓練

初めての取組として、3/24 第六公園にて自治会とヴィルヌーブ保土ヶ谷Ⅱ及びⅣの管理組合が合同で、防災訓練を実施することになりました。大地震を想定し、各マンションの避難経路や消火器等の設置場所などの確認や起震車での体験も予定しています。



合同で打合せ中

ハイツ「お楽しみサロン」その後

昨年6月に「ハイツお楽しみサロン」が誕生し隔月に開催。毎回楽しい企画を組んでいます。2月はボランティアによる手品でした。

不思議な手品



種明かしはお預けで参加者一同不思議が一杯、楽しさ一杯でした。次回も楽しみです。

新桜ヶ丘住宅支え合いグループ

私たちは、住民の高齢化・孤立化が進む中、一人一人の住民が日常生活のどこかで、何らかの関わりや繋がりを持つことができる地域づくりを目的に、自治会と管理組合の共同支援を得て、今年1月に発足したグループです。

SLOGANは「ちょっと気配り、ご近所同士！」

行政や民生委員による専門的な見守りに加えて、日常生活の中でさりげなく行う「緩やかな見守り」により「気づきの目」を拡大し支援の必要な方や異変の発見につなげたいと考えています。今はまだ15人余りの小さなグループですが、毎月1回の話し合いを通じグループの輪を広げ、将来的には住民全員がこの活動に参加し、高齢者や独居者が安心して暮らせる和やかな環境が作られ維持されることを願っています。



ふじっ子ホットプラス（藤塚小学習支援）30年度の活動

- 1年 伝承あそびの会
- 2年 野菜作り／虫とおともだち
- 3年 こまの名人をめざして／シャボン玉名人になろう
変わる私たちの生活・受けつがれる行事
- 4年 空高くあがれ“凧”／水鉄砲マスター／資源の行方
- 5年 紙すき教室



家庭科学習補助

お米ができるまで（土起こし・田植え・雀よけ・水やり・収穫・脱穀）
 藁リース作り

家庭科実習（縫い方の基礎・小物作り・ランチョンマット・みそ汁・みたらし団子）

- 6年 家庭科実習（ナップザック作り・粉ふきいも・ポテトサラダ）
地域の公園を知る

その他 クラブ活動指導（茶道）／花の整備／図書室環境整備／読み聞かせ／昔あそびのつどい



田んぼの土起こし

藤塚小では地域の力を授業に取り入れる取り組みをしています。今年度も地域の多くの皆様にご協力いただきました。

ホットプラスでは企画・指導・学習補助の協力をお願いしています。お手伝い頂ける方はご連絡下さい。

学校・地域コーディネーター
 中村好美 090-4072-2422



ワラで作ったリース

あんしん訪問研修会

2/6 新桜ヶ丘集会所にて、あんしん訪問員・友愛活動員を対象に「今井地域ケアプラザの仕組み」を社会福祉士／迫博士・後藤明両氏に、地域情報等を駐在所の徳永卓也氏にお聞きしました。「この地区の3人に一人が65歳以上と知り、見守りをしっかりとやっていきたい」「地域包括支援センターがケアプラザ内にあり、介護保険サービス等の相談に乗って頂けるので助かります」「徳永さんが頻りにパトロールをしてくれるので安心です」等、出席者から感想を頂きました。

誰もが住みなれた新桜ヶ丘地区で、自分らしく安心して暮らし続けることができるようにするためにも、地域の全ての人に見守りの意識を持って頂くことが大事なのではないでしょうか。



母親ネットワーク「学んでストレッチ」

10/26、新桜ヶ丘・保土ヶ谷西部地区社協共催の母親ネットワーク事業で「健康学びヨガ講座」を今井地区センター体育室にて開催しました。

参加15名のママたちはヨガポーズ一つ一つに対し体のどの部分にどんな効果があるのか、食品添加物や栄養に関するお話等、講師の鈴木美奈子先生の話にポーズをとりながら熱心に耳を傾けていました。そんなママたちを待つ19名の子どもたち



を今回初参加の男性を含む20名の保育ボランティアさんが見守りを行ないました。

男性ボラも大活躍

地域防災拠点研修で

12/15、DIG (Disaster Imagination Game) 訓練を実施しました。

DIG 訓練とは災害図上訓練の具体的な手法のひとつです。拠点民生班では食料物資班長の協力を得て避難所開設初動訓練を実施しました。



18時30分にM7.9震度6強の地震発生⇒一時避難所に住民が集まり始める⇒防災拠点が開設される⇒住民が拠点到避難して来る⇒体育館の避難スペースの区割りをする⇒学校のトイレの

水は流れない⇒停電が発生する⇒配布した食料のゴミが散乱し始める⇒避難者の人数がキャパシティを超える等々地震発生から一晩を越し翌日の18時までの24時間、刻々と状況が変わるという設定に対して13の設問を用意し、拠点委員として何をすべきかを考えました。拠点運営委員会を8グループに分け委員、学校関係PTA行政機関を交え様々な立場での意見交換が交わされ今後の運営に参考になる有意義なワークショップでした。



一次避難所



～ホテルに支えられて30年間～

市沢・仏向の谷戸に親しむ会ホテルを発見したものの谷戸はゴミだらけ、殆どが民有地。火薬工場跡地開発事業者と問題解決への話し合い等、苦難な道が何本も見えていました。今振り返ってみると一本の道になって続いています。

先日、横浜市から「市沢の谷戸が市民の森になる。生きもの・水質調査のご協力を」と嬉しい連絡がありました。

激減していたホテルは回復の兆し、昨年は見事に舞いました。

繋がり、全てに感謝申し上げます。
(代表 藤川信子)



社協ふれあいバス旅行



11/20「ふれあいバス旅行」を実施しました。満席のバスは目的地の「伊豆パノラマパーク」に到着。

ロープウェイに揺られ7～8分で山頂に。残念ながら、そこには期待した富士山の雄大な姿はなく、雲に遮られ裾野しか見ることができませんでした。しかし、展望デッキから眼下に駿河湾を望むと360°の大パノラマの絶景に充分満足できました。昼食に地元の海の幸をご馳走になり、次の目的地「富士山世界遺産センター」へ。ここでまず目を奪われたのは和紙でデザインされた大きな富士山の模型。照明演出で赤・青・緑と1日の時間と共に変化する美しい姿に魅了されました。体感コーナーや展示物を見て廻り、

“富士山はやはり日本人にとって心のふるさと” だなあと改めて感じた旅でした。



和紙で作られた富士山

福祉講座「NET・SNSの基本のキ」

10/3、新桜ヶ丘集会所にて保土ヶ谷警察生活安全課の有川清美氏をお迎えし、携帯電話等によるNETやSNSに潜むイジメや犯罪に発展する問題点について詳しくお話を聴きました。始めに区内の非行少年等の概要を確定値の表により説明がありました。この中で、非行少年の検挙・補導数は前年に比較して14%減少しているものの校内暴力は13%増加している等の報告がありました。

携帯のSNSを使ったイジメはあとを絶たず「買う前」「使い始め」に特性や危険性を理解させ、それぞれの使い方のルール作りの必要性を感じました。



発行 新桜ヶ丘地区社会福祉協議会
所在地 今井の丘公園 新桜ヶ丘集会所
発行責任 会長 吉田 文信
協力 保土ヶ谷区社会福祉協議会
印刷会社 (株)イマジクリエイション

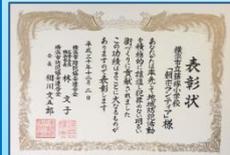
受賞 おめでとう !!



* 横浜市長 勤続15年表彰
新桜ヶ丘自治会長 吉田文信氏



* 横浜市長 民生委員20年表彰
* 市社会福祉協議会 20年表彰
新桜ヶ丘民生委員児童委員
中村好美氏



* 横浜市長・防犯協会連合会表彰
藤塚小学校「朝ボランティア」

新春地域交流のつどい「ふれあいゲーム」

1/27に開催した「交流のつどい」の第2部は、二丁目自治会が担当の「ふれあいゲーム」です。「以心伝心☆ぴったんこゲーム」と称し参加者同士でペアを組み、問題に対してペアの答えが一致すれば勝ち進むというゲームです。

区長を始め全員参加で会場は大盛り上がりでした。お互いを知るきっかけ作り大成功！



ガンバル司会者

★地域交流のつどいはボランティアの活動発表と交流の場で毎年実施しています



みんなで活動・赤い羽根共同募金

10/1に民生・児童委員の街頭募金活動を皮切りに、自治会長・社協役員・自治会有志での駅前街頭募金。「よつ葉会」「おもちゃばこ」はボランティア活動の中で取り組みました。



ご協力お願いしま〜す！

編集委員 神戸恭子、岸景子、久内博子、齋藤由希子
高木丸美、竹安美智子、辻茂樹、中村好美
花塚勝子、山森美千代 (五十音順)